

政策調整会議の概要

開催日 平成26年8月7日(木)

◎項目

- 1 高知県の経済概況について【総務部】
- 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

◎内容

1 高知県の経済概況について【総務部】

総務部から、資料に基づき高知県の経済概況について概要説明が行われた。

【主な説明概要】

(総務部)

- ・ 8月4日時点での日本銀行高知支店の基調判断は「消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調的には緩やかに回復しつつある」となっている。
- ・ 個人消費のうち、6月の新車販売台数は2カ月連続のプラスで2,343台となっている。普通車は2カ月連続のプラス、軽自動車も10カ月連続のプラスとなっている。増加分については消費税率引き上げ前の注文による納車分が含まれており、6月もプラスになっている。
- ・ 有効求人数は5.6%増の1万2,598人となり、57カ月連続でプラスとなっている。新規求人数も2カ月連続のプラスとなり、産業別では製造業、金融業、繊維業、運輸業・郵便業、建設業などの産業で、前年同月比が二ケタの伸びを示している。
- ・ 6月の有効求人倍率は0.01ポイント上昇の0.85倍となり過去最高を更新している。全国は前月比で0.01ポイント上昇し1.1倍となり、19カ月連続でプラスとなっている。

2 各部局等の主要な取り組み動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

【主な説明概要】

(文化生活部)

8月22日に「空海の足音四国へんろ展 高知編」の開展式が行われる。これは今年が、空海が八十八カ所霊場を開いてから開創1200年記念ということで、四国4県が連携して空海にちなんだ仏像、絵画、工芸品などを巡回して展示しようということで、高知県が四国のトップを切っていくものである。高知県でのへんろ展は8月23日～9月23日の1ヶ月間開催される。

(産業振興推進部)

スーパーよさこいの関係で東京都の表参道に「高知家」のフラッグを掲示している。掲示した途端にSNSで「高知家」というような書き込みがたくさん行われ、首都圏で

の「高知家」の露出としてはとても効果的であった。

(農業振興部)

高知県は全国第2位のユリの生産・出荷量を誇る県である。ただ、価格の低下や燃油高騰などで、年々その生産自体は厳しさを増している。そこで、関係者が一堂に会して連携し、国で制定された花き振興法の事業も活用しながら、一体的な連携した取り組みを行うべく、8月6日に高知県リリースファミリーを立ち上げた。